

火 災 統 計

過去 10 箇年の大都市の火災件数

都市 \ 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
札幌市	640	633	577	539	545	546	517	474	435	407
仙台市	362	419	333	308	334	294	250	280	254	249
さいたま市	414	387	404	349	346	320	273	304	319	252
千葉市	317	316	295	330	300	279	265	263	261	258
東京都※ (23 区)	3, 670	3, 812	3, 745	3, 690	3, 553	3, 252	3, 010	4, 204	2, 913	4, 085
横浜市	961	1, 024	904	968	950	750	754	854	702	685
川崎市	388	425	328	337	381	370	374	331	324	328
相模原市	249	231	187	177	203	163	149	144	142	141
新潟市	151	156	155	119	160	125	140	99	124	147
静岡市	194	252	250	200	196	204	171	259	177	212
浜松市	245	277	212	241	236	201	166	214	206	178
名古屋市	888	848	767	783	661	558	567	551	569	528
大阪市	1, 172	1, 133	1, 012	1, 091	1, 021	870	849	918	741	745
堺市	324	271	302	299	239	199	178	226	194	186
神戸市	631	640	571	573	514	451	457	472	460	373
岡山市	272	227	243	214	215	177	159	228	166	200
広島市	482	437	375	384	361	289	275	297	244	277
北九州市	433	422	344	380	304	257	256	263	237	230
福岡市	378	356	337	325	307	281	283	321	309	307
熊本市	175	174	132	175	175	177	174	171	181	185
京都市	170	215	270	245	236	232	256	249	230	215

※ 東京消防庁の資料「火災の実態」の数値を引用

堺市・岡山市・広島市・熊本市の火災件数には受託地域の数値は含まれていない。

東京都の火災件数は、東京消防庁管内の数値であり、概数値である（治外法権火災、稲城市・島しょでの火災は含まない。）。

静岡市の火災件数は、広域化市町（島田市・牧之原市・吉田町・川根本町）の数値を含む（平成 28 年 4 月 1 日から消防広域化）。

過去 10 年間の大都市の出火率（人口 1 万人当たりの火災件数）

都市 \ 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
札幌市	3.3	3.3	3.0	2.8	2.8	2.8	2.7	2.4	2.2	2.1
仙台市	3.5	4.0	3.2	2.9	3.1	2.7	2.3	2.6	2.3	2.3
さいたま市	3.4	3.2	3.2	2.8	2.7	2.5	2.1	2.4	2.4	1.9
千葉市	3.3	3.3	3.1	3.4	3.1	2.9	2.7	2.7	2.7	2.6
東京都※ (23区)	4.3	4.4	4.2	4.1	3.9	3.5	3.2	3.1	3.1	3.0
横浜市	2.6	2.8	2.4	2.6	2.6	2.0	2.0	2.3	1.9	1.8
川崎市	2.8	3.0	2.3	2.4	2.6	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2
相模原市	3.5	3.2	2.6	2.5	2.8	2.3	2.1	2.0	2.0	2.0
新潟市	1.9	1.9	1.9	1.5	2.0	1.6	1.8	1.2	1.6	1.9
静岡市	2.7	3.4	3.5	2.8	2.8	2.9	2.4	2.9	2.5	2.4
浜松市	3.0	3.4	2.6	2.9	2.9	2.5	2.1	2.6	2.6	2.2
名古屋市	4.0	3.7	3.4	3.5	2.9	2.5	2.5	2.4	2.5	2.3
大阪市	4.4	4.2	3.8	4.1	3.8	3.2	3.1	3.4	2.7	2.7
堺市	3.9	3.2	3.6	3.6	2.8	2.4	2.1	2.7	2.3	2.1
神戸市	4.2	4.1	3.7	3.7	3.3	2.9	2.9	3.1	3.0	2.4
岡山市	3.9	3.2	3.5	3.0	3.0	2.5	2.2	3.2	2.3	2.7
広島市	4.1	3.7	3.2	3.2	3.0	2.4	2.3	2.5	2.0	2.2
北九州市	4.4	4.4	3.5	3.9	3.2	2.7	2.7	2.8	2.5	2.4
福岡市	2.7	2.5	2.4	2.3	2.1	1.9	1.9	2.1	2.0	2.0
熊本市	2.6	2.6	2.0	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4
京都市	1.2	1.5	1.8	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5

※ 東京消防庁の資料「火災の実態」の数値を引用

出火率について、参考とする人口データの入手時期は各都市で異なる。

過去 10 箇年の京都市の火災状況

項目 \ 年			平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成30年	令和 元 年
火災件数			170	215	270	245	236	232	256	249	230	215
火災 種別	建物		136	180	210	186	166	170	193	176	173	162
	林野		4	5	2	6	5	2	2	3	3	3
	車両		18	19	26	16	29	35	23	32	13	18
	船舶			1								
	その他		12	10	32	37	36	25	38	38	41	32
焼損 面積	建物 (㎡)	床	4,181	6,389	5,609	5,247	3,723	4,723	4,282	4,203	5,850	3,477
		表	778	933	753	806	543	1,096	751	413	523	445
	林野 (a)		48	508	53	389	15	5	26	18	16	71
火元棟の 焼損面積 (㎡)	床面積		3,381	5,346	5,072	4,065	3,364	4,268	3,381	3,879	4,310	2,897
	表面積		546	550	500	280	310	583	252	161	179	212
焼損 棟数	全焼		23	39	33	39	25	23	33	23	25	20
	半焼		27	28	18	30	16	16	20	18	20	12
	部分焼		84	103	81	90	72	74	86	74	66	62
	ぼや		59	108	141	124	123	133	127	127	129	111
り 災 世帯数	全損		21	33	20	24	18	16	39	24	22	15
	半損		23	24	14	27	21	19	18	18	26	10
	小損		111	173	157	150	148	152	179	155	142	128
り災人員			294	388	363	367	349	345	392	361	363	285
死傷者	死者		15	14	15	18	17	6	15	15	12	41
	負傷者		68	84	83	50	53	61	52	77	60	83
損害額 (千円)			252,475	424,339	351,932	252,336	239,077	264,570	310,783	400,867	471,213	434,017

過去 10 箇年の行政区別の火災状況

年 行政区	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	計
北	13	15	22	17	17	15	23	30	19	13	184
上京	5	7	7	13	16	11	8	12	11	12	102
左京	20	19	36	32	22	22	22	30	23	34	260
中京	19	7	19	15	17	21	25	17	17	14	171
東山	5	12	10	8	6	10	8	12	11	6	88
山科	12	11	22	20	17	11	21	26	13	15	168
下京	12	16	11	21	11	19	19	13	13	15	150
南	17	28	27	22	26	23	22	15	22	19	221
右京	12	27	33	30	24	29	30	24	33	28	270
西京	18	22	16	13	11	27	19	25	17	17	185
伏見	37	51	67	54	69	44	59	45	51	42	519
計	170	215	270	245	236	232	256	249	230	215	2318

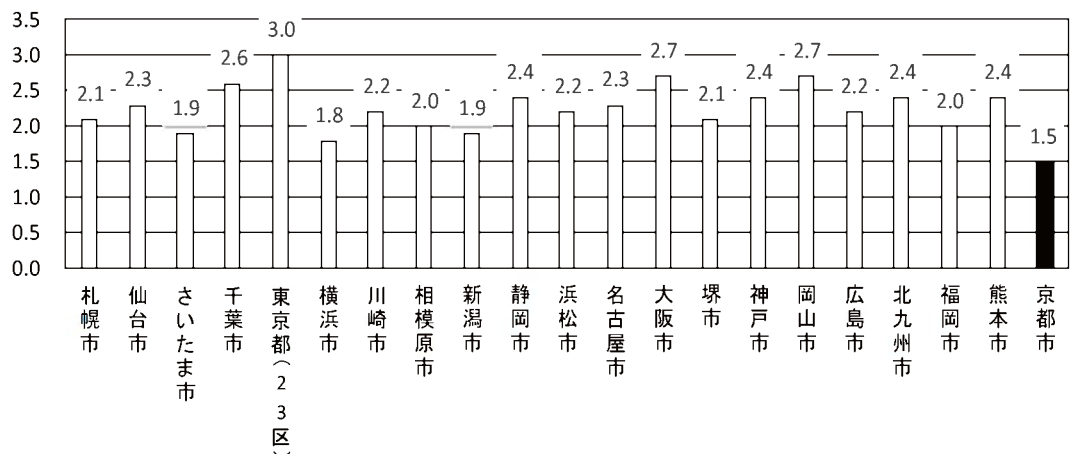
過去 10 箇年の主な火災原因

平成 22 年		平成 23 年		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年	
放火（疑含）	37	放火（疑含）	41	放火（疑含）	57	放火（疑含）	47	放火（疑含）	58
たばこ	20	たばこ	34	たばこ	32	たばこ	33	たばこ	27
天ぷらなべ	10	コード	19	天ぷらなべ	23	たき火	19	天ぷらなべ	12
たき火	10	ガスこんろ	14	ガスこんろ	16	天ぷらなべ	17	たき火	12
コード	10	たき火	13	ローソク	12	コード	15	コード	11
ガスこんろ	7	天ぷらなべ	10	コード	12	ガスこんろ	11	ガス類引火	10
石油ストーブ	5	電気ストーブ	10	電気ストーブ	11	電気ストーブ	10	電気ストーブ	7
電気ストーブ	4	ローソク	8	ライター	10	火遊び	9	ガスこんろ	7
ガス類引火	4	プラグ	8	ガス類引火	7	ローソク	7	ローソク	7
自然発火	4	ガス類引火	7	たき火	6	線香	6	ライター	7
平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年	
放火（疑含）	39	たばこ	50	放火（疑含）	34	放火（疑含）	27	たばこ	31
たばこ	35	放火（疑含）	42	たばこ	27	たばこ	26	ガスこんろ	21
ガスこんろ	13	ガスこんろ	18	ガスこんろ	15	コード	16	放火（疑含）	16
電気ストーブ	12	たき火	13	たき火	14	たき火	13	コード	12
天ぷらなべ	11	天ぷらなべ	10	コード	14	ガスこんろ	12	たき火	10
ローソク	10	ガス引火	8	天ぷらなべ	12	電気ストーブ	10	リチウム電池	9
たき火	10	コード	8	電気ストーブ	10	ローソク	7	電気ストーブ	9
コード	8	リチウム電池	6	油類引火	8	火遊び	7	天ぷらなべ	8
排気管	8	ローソク	5	ローソク	7	ガス類引火	6	溶接・溶断機	6
ガス類引火	6	電気ストーブ	4	溶接・溶断機	7	天ぷらなべ	5	プラグ	5
						線香	5		

大都市の火災件数

都市 \ 年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	人口1万人 当たりの火 災件数
札幌市	546	517	474	435	407	2.1
仙台市	294	250	280	254	249	2.3
さいたま市	320	273	304	319	252	1.9
千葉市	279	265	263	261	258	2.6
東京都（23区）	3,252	3,010	4,204	2,913	4,085	3.0
横浜市	750	754	854	702	685	1.8
川崎市	370	374	331	324	328	2.2
相模原市	163	149	144	142	141	2.0
新潟市	125	140	99	124	147	1.9
静岡市	204	171	259	177	212	2.4
浜松市	201	166	214	206	178	2.2
名古屋	558	567	551	569	528	2.3
大阪市	870	849	918	741	745	2.7
堺市	199	178	226	194	186	2.1
神戸市	451	457	472	460	373	2.4
岡山市	177	159	228	166	200	2.7
広島市	289	275	297	244	277	2.2
北九州市	257	256	263	237	230	2.4
福岡市	281	283	321	309	307	2.0
熊本市	177	174	171	181	185	2.4
京都市	232	256	249	230	215	1.5

大都市の出火率(人口1万人当たりの火災件数)



◇ 令和元年中の火災概要(全国)

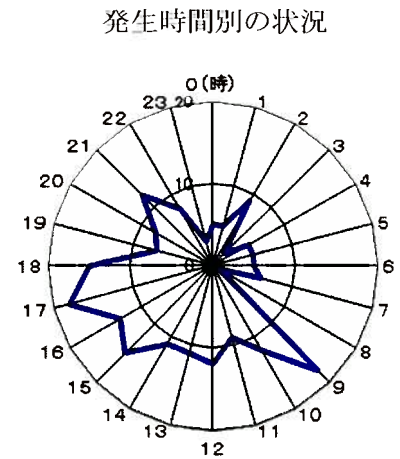
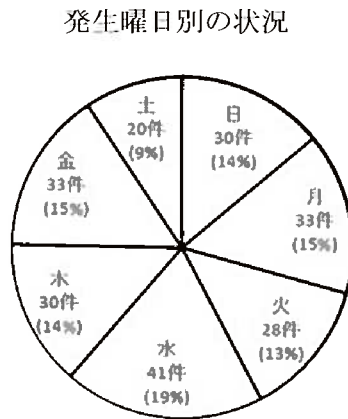
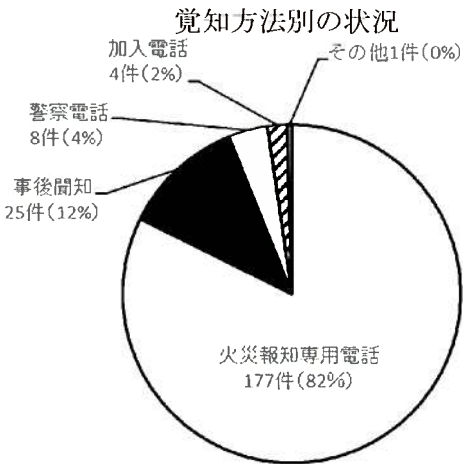
	(年間)	(1日当たりの平均)
火災件数	37,538 件	102.8 件
建物火災	20,915 件	57.3 件
林野火災	1,395 件	3.8 件
車両火災	3,580 件	9.8 件
船舶火災	69 件	0.2 件
航空機火災	1 件	0.0 件
その他火災	11,578 件	31.7 件
建物焼損床面積	1,115,154 m ²	3,055.2 m ²
林野焼損面積	81,275 a	222.7 a
死傷者数	7,291 人	20.0 人
死者数	1,477 人	4.0 人
負傷者数	5,814 人	15.9 人
損害額	80,243,130 千円	219,844.2 千円

令和元年中の火災概要（京都市）

- 火災件数は215件の発生となり、出火率（人口1万人当たりの火災件数）は1.5となりました。
- 火災による被害は、林野焼損面積、死者、負傷者が前年より増加し、建物焼損床面積、建物焼損表面積、り災人員、損害額、焼損棟数、り災世帯は減少しました。建物焼損床面積が300㎡以上の火災は2件発生しました。
- 火災による死者は41人で、高齢者等（65歳以上の高齢者及び身体に障害のある者）の死者は6人と15%を占めました。1件の火災で一度に34人死者が発生しました。
- 42件の火災で83人が負傷し、1件の火災で2人以上が負傷する火災が8件発生しました。
- 業態別では、一般住宅、共同住宅、併用住宅を合わせた住宅火災が107件発生し、全建物火災の66%を占め、次いで多いものとして飲食店が17件、工場・作業場 15件、事務所が5件発生した。
- 火災原因別では、たばこが31件と最も多く、次いで、ガスこんろ、放火（疑い含む）、コード、たき火の順に多く発生しました。

令和元年中の火災状況

区 分 項 目		平成30年	令和元年	増△減	1 日 平 均	
					平成30年	令和元年
火 災 件 数		230	215	△ 15	0.63	0.59
焼 損 面 積	建物	5,850	3,477	△ 2,373	16.03	9.53
	床面積					
	表面積	523	445	△ 78	1.43	1.22
林 野 (a)		16	71	55	0.04	0.19
焼 損 棟 数	全 焼	25	20	△ 5	0.07	0.05
	半 焼	20	12	△ 8	0.05	0.03
	部 分 焼	66	62	△ 4	0.18	0.17
	ぼ や	129	111	△ 18	0.35	0.30
り 災 世 帯 数	全 損	22	15	△ 7	0.06	0.04
	半 損	26	10	△ 16	0.07	0.03
	小 損	142	128	△ 14	0.39	0.35
り 災 人 員		363	285	△ 78	0.99	0.78
死 傷 者	死 者	12	41	29	0.03	0.11
	負 傷 者	60	83	23	0.16	0.23
損 害 額 (千円)		471,213	434,017	△ 37,196	1,290.99	1,189.09



地域別の火災状況

年	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	令和元年
地 域							
北東地域(北・左京・山科)	176 (23)	81 (25)	58 (25)	71 (30)	85 (25)	57 (21)	62 (29)
都心地域(上京・中京・下京・東山)	377 (50)	116 (35)	70 (31)	55 (23)	71 (21)	76 (28)	47 (22)
南西地域(右京・西京・南・伏見)	203 (27)	129 (40)	100 (44)	113 (47)	182 (54)	142 (52)	106 (49)

注 ()内の数字は各地域の発生比率(%)を示します。

行政区別の火災状況

(令和元年中)

行政区		計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見
火災件数		215	13	12	34	14	6	15	15	19	28	17	42
火災別	建物	162	12	11	25	10	5	11	13	14	20	11	30
	林野	3	1		1						1		
	車両	18			2	1	1	2	1	2	3	2	4
	その他	32		1	6	3		2	1	3	4	4	8
火元棟の焼損面積(m ²)	床面積	2,897	81	128	104	130	246	81	62	47	302	484	1,232
	表面積	212	108	29	11	2	1	5	14	5	1	21	15
焼棟数	全焼	20		1	4	2	4				3	4	2
	半焼	12			1		1	1		1		2	6
	部分焼	62	5	8	8	7	4	3	6	4	3	6	8
	ぼや	111	9	8	18	5	2	8	8	9	21	5	18
り災世帯数	全損	15	2	1		2	1	1		1	3	2	2
	半損	10			1			1		1	1	2	4
	小損	128	16	11	16	6	6	13	9	8	15	8	20
り災人員		285	36	21	30	21	10	24	14	21	39	21	48
焼面損積	建物	3,477	81	128	279	187	579	81	62	47	311	490	1,232
	床	445	110	137	12	22	58	7	14	5	4	46	30
	林野(a)	71	21		43						7		
死傷者	死者	41			1	2						2	36
	負傷者	83	5	4	7	4		9	2	4	7	2	39
損害額(千円)		434,017	4,156	4,188	40,641	21,866	72,420	10,341	7,616	2,648	13,008	16,566	240,567

月別の火災状況

(令和元年中)

月		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
火災件数		215	23	24	25	24	17	21	9	18	10	11	11	22
火災別	建物	162	21	17	22	16	12	14	7	14	7	10	8	14
	林野	3				2	1							
	車両	18	1	3	1	1		1		2	1		2	6
	その他	32	1	4	2	5	4	6	2	2	2	1	1	2
火元棟の焼損面積(m ²)	床面積	2,897	389	190	628	148	45	159	963	289	4	5	51	26
	表面積	212	2	4	6	92	1	24	5	29	8	36	2	3
焼棟数	全焼	20	2	1	5	1	3	2	3	3				
	半焼	12	1	1	3	2			2	1			1	1
	部分焼	62	9	7	9	6	2	3	4	10	2	2	4	4
	ぼや	111	19	15	9	9	12	11	2	6	5	8	4	11
り災世帯数	全損	15	4	2	3	2		1	1	2				
	半損	10	1	2	3	1			1				1	1
	小損	128	26	12	14	13	8	8	8	9	4	7	6	13
り災人員		285	44	32	39	34	16	16	17	31	11	9	13	23
焼面損積	建物	3,477	389	199	641	148	220	165	1,283	346	4	5	51	26
	床	445	95	7	31	95	1	32	52	79	8	36	2	7
	林野(a)	71				64	7							
死傷者	死者	41	1	1	2	1			34	2				
	負傷者	83	5	5	8	10	1	2	36	5		2	4	5
損害額(千円)		434,017	25,776	12,593	61,834	19,742	12,245	11,597	256,821	20,754	1,042	667	7,199	3,747

用途・業態別火災状況

用途・業態 区分 年	火災件数			焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	4 チェック別				
	平成30年	令和元年	増△減			計	場所	器具	方法	後始末
計	173	162	△ 11	3,477	431,449	143	20	38	41	44
遊技場	1	1	0	0	5	1		1		
飲食店	14	17	3	765	83,458	16	3	8	3	2
百貨店・マーケット	1	0	△ 1	0	0	0				
店舗	7	0	△ 7	0	0	0				
展示場	1	0	△ 1	0	0	0				
旅館・ホテル	3	0	△ 3	0	0	0				
寄宿舎・下宿	2	0	△ 2	0	0	0				
共同住宅	45	47	2	222	14,947	39	6	6	16	11
病院・医院	0	2	2	0	56	1		1		
福祉施設等	1	1	0	20	2,639	0				
幼稚園	1	0	△ 1	0	0	0				
学校	2	2	0	0	11	2		1		1
公衆浴場	0	0	0	0	0	0				
神社・寺院・教会	5	2	△ 3	6	1,466	2				2
工場・作業場	23	15	△ 8	62	36,603	14	1	6	4	3
映画スタジオ	0	1	1	0	22	1		1		
倉庫	4	2	△ 2	127	2,472	2		1		1
事務所	3	5	2	825	195,832	4		1	1	2
複合用途防火対象物 表 用 部 分	0	0	0	0	0	0				
その他	1	7	6	118	5,137	6	1	1	1	3
併用住宅	6	2	△ 4	0	2	2	1		1	
一般住宅	53	58	5	1,332	88,799	53	8	11	15	19

最近の火災様態

過去 10 年間に京都市で発生した建物火災の出火原因について、その発生要因を分析すると次のような推移（傾向）をたどっています。

出火原因（要因）の分類

要因 \ 年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
人的欠陥	93 (85)	125 (83)	132 (87)	126 (85)	103 (82)	128 (87)	133 (83)	115 (79)	118 (80)	111 (78)
構造的欠陥	17 (15)	26 (17)	19 (13)	22 (15)	23 (18)	19 (13)	28 (17)	31 (21)	30 (20)	32 (22)

備考1 人的欠陥：人の不注意、取扱い不良など管理面の不備による火災件数

2 構造的欠陥：火気取扱設備及び電気設備等の位置、構造、設備の欠陥による火災件数

3 ()内の数字は各年の要因比率(%)を示します。

出火原因をつくった人の心理状態

心理状態 \ 年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火気取扱時	14 (13)	18 (12)	44 (33)	39 (26)	27 (21)	23 (16)	39 (24)	34 (23)	22 (15)	28 (20)
喫煙時	29 (24)	41 (27)	33 (23)	29 (19)	12 (10)	39 (27)	29 (18)	20 (14)	27 (18)	16 (11)
喫煙時	40 (33)	32 (21)	37 (26)	44 (30)	52 (41)	52 (35)	60 (37)	57 (39)	52 (35)	58 (41)
無関係時	3 (3)	10 (7)	5 (4)	10 (7)	9 (7)	8 (5)	7 (4)	11 (7)	12 (8)	10 (7)
他	1 (1)	3 (2)	4 (3)	3 (2)	4 (3)	6 (4)	1 (1)	4 (3)	4 (3)	5 (3)
不可解	13 (14)	13 (11)	10 (7)	11 (15)	22 (17)	19 (13)	25 (16)	20 (14)	31 (21)	26 (18)

備考1 火気取扱時：火気取扱中、他作業を並行していた。

2 喫煙時：喫煙中に火種を置いた。

3 喫煙時：喫煙中に火種を置いたが、安全で危険はないと思った。

4 無関係時：精神的に不調、判断力なし。

5 他：就寝中取扱い、取用箇を誤板い。

6 不可解：原因不明。

7 ()内の数字は各年の心理状態比率(%)を示します。

防 火 の 4 チェック と 火 災 原 因

建物火災の4チェックと分類

項目		発火源	電気による発熱体	ガス・油類を燃やす器具	油料装置	主火(炭・石炭)と副火(炭・石炭)を燃やす器具	火種(火の目)	燃焼(火の身)	火災(火の発生)	火災(火の発生)	火災(火の発生)	火災(火の発生)	火災(火の発生)
4チェック分類	場所が危険	7	7			5							
	器具が不良	29	4	2	2								
	使用方法が不良	13	22	1	2								
	後始末が不完全	3	10		28								
分類不能のもの	放火(疑いを含む)		1		10								
	不可抗力等												
	天災												
計		54	44	3	47								

4 チェック別の火災事例

(令和元年中)

区分	場所が危険	器具が不良	使用方法が不良	後始末が不完全
電気による発熱体	☆電気こんろ 電気こんろの横で就寝したため、体動により電気こんろのスイッチが不意に入り、ヒーター部分に接触していたビニール袋等に着火し、出火した。 ☆電気ストーブ 電気ストーブを点けて就寝中、ストーブ付近の本棚から書籍類が崩れ落ち、ストーブ前面ガードに接触し、出火した。	☆リチウム電池 電気工具の社外品のバッテリーを充電中に何らかの電気的要因により蓄電池から出火した。 ☆電気ストーブ 電気ストーブ内部の端子台のはんだ部が、何らかの要因で接触不良となり発熱し、出火した。	☆クッキングヒーター IHヒーターのタイマースイッチを押す際、誤って隣のラジエントヒーターのスイッチを入れたことに気付かずその場を離れたため、ラジエントヒーター上に置いてあった電気ケトルから出火した。 ☆テーブルタップ 収容物等の下敷きになっていたテーブルタップの配線が、家人や収容物の踏み付け等により、損傷して短絡し出火した。	☆投げ込みヒーター 温水洗浄するために、バケツに水を入れ投込みヒーターで加熱したまま忘れてその場を離れたため、同バケツの水が蒸発し、バケツから出火した。
ガス・油類を燃料とする道具装置	☆カセットこんろ 居室の床にカセットこんろを置き、フライパンで食物を調理していた際、こんろが動き、あふれた火が近接していた布団に触れ出火した。 ☆アセチレンガス溶断機 アセチレンガス溶断機で作業中、バーナーの炎が近接した位置の水道用樹脂製パイプに接炎し、同パイプから出火した。	☆カセットこんろ カセットこんろにボンベを装着し、点火操作をしたところ、ボンベの接続が不十分であったため、接続部から漏れたガスに点火火花が引火し、出火した。	☆都市ガステーブル 中華鍋で油を加熱中に、誤ってマグカップに入った水を入れてしまい、高温の油が周囲へ飛散してこんろの火に触れ、出火した。 ☆都市ガステーブル 点火操作で火が付かなかったため、何度も繰り返したところ、周囲にガスが滞留し、点火の火花により引火し周囲の炊事用品から出火した。	☆ローソク 絨机上に置かれた燭台に洋ローソクを差して火を付け、外出したところ、何らかの要因により同ローソクが転倒落下し、絨机の脚に着火し出火した。
まき、炭、石炭（コークス）を燃料とする道具装置			☆七輪こんろ 焼肉店の客人が肉を焼いていたところ、多量の油が落ち、七輪こんろの炭火から炎が立ち上がり、排気ダクト内に付着した油脂に着火し、出火した。	
火種（それ自身発火しているもの）	☆焼却 敷地内でごみの焼却を行っていたところ、燃えさが近接して置かれていた廃品等に触れ、出火した。	☆造粒機 空き缶再資源化システム of 最終工程において、造粒機で金属を破砕中に発生した火花等が、排気ダクト内へ導かれ、堆積していた粉塵に着火し、出火した。	☆蚊取り線香 就寝中に布団の付近に置いていた蚊取り線香の火に布団等が被さったため、着火し出火した。	☆蚊取り線香 火種の残った蚊取り線香を段ボールが入ったごみ袋に捨てたため、段ボールに着火し、出火した。 ☆たばこ 火種の残ったたばこの吸い殻をごみ箱内に捨てたため、周囲のごみに着火し、出火した。
高温の個体		☆無煙ロースター 焼肉店の無煙ロースターに接続された排気ダクトの断熱処理がされないまま経年使用されたため、排気熱により同排気ダクトと接していた床下の根太が低温出火した。		
自然発火あるいは再燃を起すもの				☆たばこ たばこの火種が座布団に落下したため、コップの水で消火し、同座布団を乾燥させるためベランダに設置の蓋付き樹脂製ごみ箱上に置いたが、完全に消火できていなかったため、出火した。
危険物品				

〈令和元年中の主な火災〉

次の区分に該当するもの

- ① 焼損面積 500 m² 以上
- ② 損害額 3,000 万円以上
- ③ り災世帯 10 世帯以上
- ④ 前各区分以外の主な火災

区分	覚知日時	覚知区分	発生場所	焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		焼損面積(m ²)	損害額(千円)
							死者	負傷者		
①②	7 月 8 日 21 時 16 分	専用	東山区祇園町南側 飲食店	全焼 2 半焼 1 部分焼 2	全損 1 小損 5	8	—	—	(床) 545 (表) 47	70,023
①②	7 月 18 日 10 時 35 分	専用	伏見区桃山町因幡 事務所	全焼 1	—	—	34	35	(床) 691	181,555

〈令和元年中の火災による死者状況表〉

火災による死者は 41 人発生し、放火自殺（巻添え含む。）による死者は発生しなかった。

性別・年齢	出火前の健康状態	居住状況等	死 亡 の 経 過
男 81	健康	家 族 留 守	熟睡のため発見が遅れ、逃げ切れずに死亡したもの
女 89	身体不自由	一 人 暮 ら し	避難行動を起こしているが、逃げ切れずに死亡したもの
男 89	身体不自由	一 人 暮 ら し	避難行動を起こしているが、逃げ切れずに死亡したもの
男 71	健康	—	炎が着衣に着火したもの
女 70	健康	一 人 暮 ら し	泥酔のため発見が遅れ、逃げ切れずに死亡したもの
男 34	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 30	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 35	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 23	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 49	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 41	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 61	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 37	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 47	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 22	健康	—	急速な延焼拡大により逃げ切れずに死亡したもの。
男 34	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 22	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 25	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 27	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 26	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 29	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 22	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 44	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 30	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 25	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 32	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 49	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 28	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 31	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 24	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 29	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 27	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 31	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 32	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 43	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 27	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 31	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
男 48	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 21	健康	—	避難行動を起こしているが、延焼拡大が早く死亡したもの
女 77	身体不自由	家 族 在 宅	熟睡のため発見が遅れ、逃げ切れずに死亡したもの
女 48	健康	家 族 在 宅	熟睡のため発見が遅れ、逃げ切れずに死亡したもの

救 急 統 計

過去 10 箇年の救急出動件数の推移



過去 10 箇年の救急出動件数の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出動件数	74,085	77,137	77,997	80,576	81,743	83,336	84,638	86,528	90,420	90,469
対前年増加件数	4,074	3,052	860	2,579	1,167	1,593	1,302	1,890	3,892	49
対前年増加率 (%)	5.8%	4.1%	1.1%	3.3%	1.4%	1.9%	1.6%	2.2%	4.5%	0.1%
1日平均件数	203	211	213	221	224	228	231	237	248	248
1隊平均件数	2,840	2,857	2,812	2,803	2,794	2,778	2,798	2,791	2,917	2,827

過去 10 箇年の事故種別救急出動件数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火 災	376	415	349	336	290	370	387	409	371	382
自 然	1	1	3	4	4	2	1	3	48	8
水 難	9	20	24	21	12	15	11	23	20	16
交 通	9,800	9,529	8,929	8,956	8,735	8,215	8,033	7,779	7,450	7,045
労 災	359	403	371	424	413	492	494	535	614	654
運 動	254	273	253	318	313	311	334	382	411	435
一 般	10,143	10,873	11,332	11,461	11,958	12,786	13,295	13,711	14,209	14,269
加 害	655	640	568	564	548	550	499	505	451	426
自 損	991	985	802	859	816	722	753	757	644	602
急 病	47,054	49,243	50,569	52,665	53,621	54,920	55,647	57,364	61,046	61,589
転 院	3,191	3,346	3,364	3,711	3,827	3,711	3,898	3,943	4,007	4,125
その他	1,252	1,409	1,433	1,257	1,206	1,242	1,286	1,117	1,149	918
計	74,085	77,137	77,997	80,576	81,743	83,336	84,638	86,528	90,420	90,469

過去 10 箇年の事故種別救護人員

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火 災	93	105	94	68	81	77	71	101	98	106
自 然			2	2	2	1	1	3	43	8
水 難	3	10	4	11	4	7	4	7	6	7
交 通	9,619	9,197	8,711	8,591	8,532	8,056	7,793	7,327	7,075	6,653
労 災	352	398	363	409	397	487	485	529	604	634
運 動	255	279	254	320	313	310	333	382	414	434
一 般	9,371	10,022	10,424	10,626	11,231	11,937	12,409	12,708	13,098	13,185
加 害	563	550	491	479	496	457	420	430	380	358
自 損	723	741	565	613	638	544	557	577	477	432
急 病	42,175	43,770	44,981	47,004	48,622	49,817	50,202	51,634	54,688	55,109
転 院	3,130	3,308	3,323	3,682	3,776	3,635	3,805	3,837	3,934	4,055
その他	137	100	114	137	113	65	20	35	49	35
計	66,421	68,480	69,326	71,942	74,205	75,393	76,100	77,570	80,866	81,016

救 助 統 計

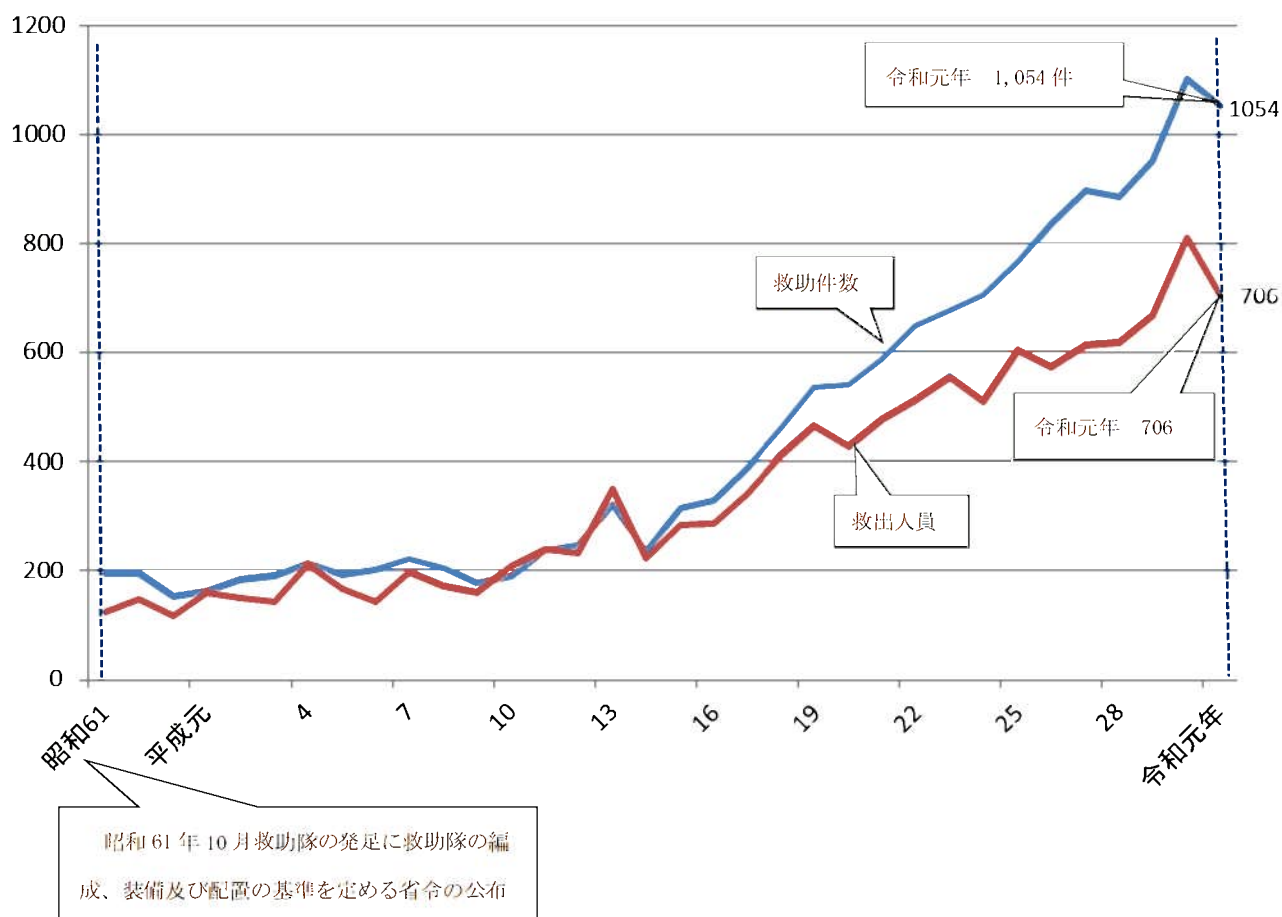
救助活動の状況

■ 過去 10 箇年の救助事故種別活動件数及び救出人員

年 \ 事 故 種 別		火 災	交 通	機 械	建 物	水 難	その他	計
活動件数	令和元年	14	52	15	713	14	246	1,054
	平成30年	18	60	21	703	21	279	1,102
	平成29年	16	54	11	620	24	228	953
	平成28年	19	52	7	568	12	228	886
	平成27年	10	59	10	568	19	232	898
	平成26年	21	73	10	495	20	218	837
	平成25年	26	69	10	422	25	214	766
	平成24年	19	59	5	423	35	164	705
	平成23年	24	54	15	377	27	180	677
	平成22年	28	55	9	325	27	205	649
年 \ 事 故 種 別		火 災	交 通	機 械	建 物	水 難	その他	計
救出人員	令和元年	14	47	24	377	9	235	706
	平成30年	13	70	43	415	20	250	811
	平成29年	15	56	16	344	17	219	667
	平成28年	18	56	7	327	7	203	618
	平成27年	13	65	16	287	8	224	613
	平成26年	16	69	9	270	11	199	574
	平成25年	16	66	11	241	17	253	604
	平成24年	15	59	17	250	10	160	511
	平成23年	19	49	43	257	11	175	554
	平成22年	34	57	27	208	19	168	513

■ 救助活動件数の推移（昭和61年～）

年 次	活動件数	救出人員	年 次	活動件数	救出人員
昭和 61 年	195	149	平成 15 年	314	285
62 年	195	149	16 年	329	287
63 年	154	118	17 年	389	341
平成 元年	162	160	18 年	460	411
2 年	183	151	19 年	535	466
3 年	190	144	20 年	540	429
4 年	213	212	21 年	588	477
5 年	193	167	22 年	649	513
6 年	202	144	23 年	677	554
7 年	222	198	24 年	705	511
8 年	205	171	25 年	766	604
9 年	176	161	26 年	837	574
10 年	191	210	27 年	898	613
11 年	238	239	28 年	886	618
12 年	247	232	29 年	953	667
13 年	323	351	30 年	1,102	811
14 年	236	224	令和 元年	1,054	706



■ 令和元年 月別事故発生状況（火災によるものを除く。）

種別	月 件数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
交通	発生件数	10	12	6	8	7	5	9	9	9	5	11	11	102
	活動件数	5	6	2	4	3	3	3	6	5	2	7	6	52
	救出人員	6	5	2	4	3	2	3	5	3	1	7	6	47
水難	発生件数	1	2	1	3	0	3	1	3	3	0	0	0	17
	活動件数	1	2	0	2	0	3	1	3	2	0	0	0	14
	救出人員	1	0	0	2	0	3	1	2	0	0	0	0	9
機械	発生件数	2	0	1	1	3	5	3	1	1	0	2	1	20
	活動件数	2	0	1	1	2	3	1	1	1	0	2	1	15
	救出人員	2	0	1	1	2	7	1	1	1	0	7	1	24
建物	発生件数	102	82	89	64	69	68	85	112	75	73	76	88	983
	活動件数	83	54	69	48	56	49	57	78	56	48	56	59	713
	救出人員	48	28	37	26	29	28	29	38	32	27	30	25	377
その他	発生件数	25	22	21	19	38	25	30	38	14	20	24	29	305
	活動件数	20	21	14	14	30	21	25	28	12	16	22	23	246
	救出人員	25	19	13	11	30	19	24	28	12	15	20	19	235
合計	発生件数	140	118	118	92	120	106	128	163	102	98	113	129	1427
	活動件数	111	83	86	69	91	79	87	116	76	66	87	89	1040
	救出人員	82	52	53	44	64	59	58	74	48	43	64	51	692

■ 令和元年 行政区別事故発生状況（火災によるものを除く。）

種別	行政区 件数	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	市外	計
交通	発生件数	4	3	1	3	6	11	7	15	10	13	23	6	102
	活動件数	2	2	1	2	2	5	4	9	4	7	12	2	52
	救出人員	2	2	1	1	2	5	3	9	4	6	11	1	47
水難	発生件数	0	0	1	1	2	0	0	0	2	1	9	1	17
	活動件数	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	9	0	14
	救出人員	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	4	0	9
機械	発生件数	2	1	0	5	1	0	1	4	1	2	3	0	20
	活動件数	2	1	0	4	1	0	1	3	0	1	2	0	15
	救出人員	2	5	0	9	1	0	1	3	0	1	2	0	24
建物	発生件数	85	57	82	85	32	101	62	83	105	75	215	1	983
	活動件数	63	41	51	59	24	78	45	54	80	54	164	0	713
	救出人員	28	26	27	34	12	40	21	31	37	31	90	0	377
その他	発生件数	17	3	66	10	14	16	11	10	66	20	66	6	305
	活動件数	14	1	55	7	11	14	8	8	54	16	54	4	246
	救出人員	10	1	63	7	10	12	7	8	49	14	50	4	235
合計	発生件数	108	64	150	104	55	128	81	112	184	111	316	14	1427
	活動件数	81	45	107	72	40	97	58	74	140	79	241	6	1040
	救出人員	42	34	91	51	27	57	32	51	92	53	157	5	692

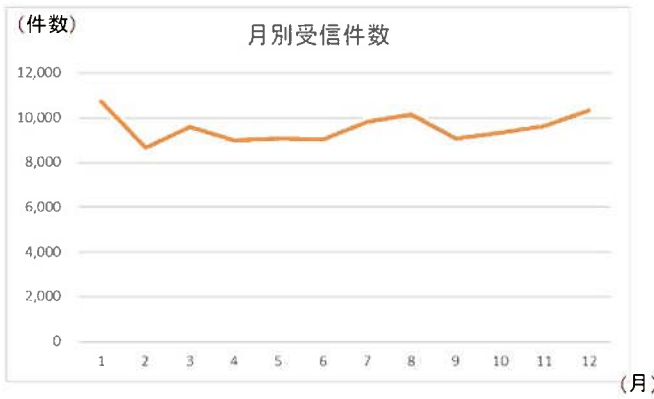
受信・指令統計

令和元年中の受信統計

(令和元年中)

種別 区分	災害通報				災害 小計	災害以外の通報				災害以外 小計	総受信 件数
	火災	救急	救助	その他		通報訓練	いたずら	間違い	問合せ		
119	974	18,283	258	177	19,692	2,078	372	1,039	847	4,336	24,028
IP	357	24,413	143	75	24,988	1,602	55	624	1,126	3,407	28,395
110	95	498	80	21	694	0	0	0	4	4	698
携帯電話	1,399	44,272	1,023	203	46,897	279	1,569	3,484	4,385	9,717	56,614
緊通	67	999	17	243	1,326	15	0	501	75	591	1,917
相談センター	0	296	0	38	334	2	0	14	8	24	358
その他	62	2,367	49	46	2,524	6	2	42	87	137	2,661
元年計	2,954	91,128	1,570	803	96,455	3,982	1,998	5,704	6,532	18,216	114,671
30年計	2,920	90,891	1,687	1,032	96,530	3,983	2,663	4,966	7,201	18,813	115,343
前年比	34	237	-117	-229	-75	-1	-665	738	-669	-597	-672
1日平均	8	250	4	2	264	11	5	16	18	50	314

- 備考 1 「110」は、京都府警察本部経由で災害を受信したものです。
2 「緊通」は、緊急通報システム（あんしんネット119）を設置した世帯から災害等を受信したものです。
3 1日平均は、令和元年中のものを示します。



令和元年中の指令統計

(令和元年中)

指令 種別	災害指令関係																指令 総数
	火災等指令関係											救急救助関係					
	基準	中高層	特対	林野	危険物	地下街	特災	応援	高速	特命(他)	救急	救助	高速	応援	集団		
1月	68	11	0	0	0	0	0	0	0	126	99	8,416	179	2	4	0	8,905
2月	38	18	0	1	0	0	0	3	1	115	105	6,650	147	8	4	0	7,090
3月	95	25	0	4	0	0	0	0	0	93	94	7,110	150	8	4	0	7,583
4月	47	22	0	20	0	0	3	3	0	76	100	7,120	125	9	3	0	7,528
5月	26	16	0	18	0	0	1	0	0	94	87	7,074	159	5	1	0	7,481
6月	32	28	0	0	0	0	0	0	4	107	90	6,977	128	5	2	0	7,373
7月	31	23	0	0	0	0	0	0	0	171	107	7,554	156	10	2	1	8,055
8月	37	15	0	1	0	0	1	0	3	181	115	7,958	209	6	2	0	8,528
9月	20	5	0	0	5	0	4	0	0	148	97	6,961	132	3	4	0	7,379
10月	22	11	0	1	0	0	0	0	1	146	107	7,089	128	16	1	0	7,522
11月	36	11	0	0	0	0	1	0	3	111	101	7,431	139	8	0	0	7,841
12月	24	22	0	0	0	0	4	0	7	127	120	7,994	155	7	2	0	8,462
合計	476	207	0	45	5	0	14	6	19	1,495	1,222	88,334	1,807	87	29	1	93,747

※ 高速とは、名神高速道路、京滋バイパス、第二京阪道路、京都縦貫自動車道及び京都市道高速道路1号線をいう。

過去 10 箇年の受信統計

種別 年度	災害通報				災 害 小 計	災害以外の通報				災害以外 小計	総受信 件数
	火災	救急	救助	その他		通報訓練	いたずら	間違い	問合せ		
令和元年	2,954	91,128	1,570	803	96,455	3,982	1,998	5,704	6,532	18,216	114,671
平成 30 年	2,920	90,891	1,687	1,032	96,530	3,983	2,663	4,966	7,201	18,813	115,343
平成 29 年	2,911	86,913	1,525	868	92,217	3,941	2,568	4,961	5,881	17,351	109,568
平成 28 年	2,531	85,260	1,442	928	90,161	3,991	1,792	5,048	5,858	16,689	106,850
平成 27 年	2,587	83,765	1,472	853	88,677	3,899	1,575	5,625	6,273	17,372	106,049
平成 26 年	2,633	83,055	1,355	984	88,027	3,760	2,825	6,467	6,678	19,730	107,757
平成 25 年	2,736	81,782	1,199	1,278	86,995	3,660	3,348	7,362	7,190	21,560	108,555
平成 24 年	2,734	79,272	1,206	1,339	84,551	3,442	3,865	8,546	7,500	23,353	107,904
平成 23 年	2,775	78,572	1,106	1,448	83,901	3,296	3,530	9,665	7,945	24,436	108,337
平成 22 年	2,769	75,581	1,031	1,584	80,965	3,371	2,763	9,318	7,976	23,428	104,393

※ 総受信件数には、平成 25 年まで実施していた回線試験数を含めず。

過去 10 箇年の指令統計

指 令 種 別	災 害 指 令																指令 総数
	火 災 等											救 急 救 助					
	基準	中高層	特対	林野	危険物	地下街	特災	高速	特火	応援	特命(他)	救助	救 急	高速	応援	集団	
令和元年	476	207	0	45	5	0	14	19	1,495	6	1,222	1,807	88,334	87	29	1	93,747
平成 30 年	561	228	0	26	2	0	15	24	1,410	7	1,451	1,958	88,038	78	31	25	93,854
平成 29 年	536	200	0	46	0	0	7	36	1,266	4	1,343	1,709	84,427	67	33	1	89,675
平成 28 年	572	236	0	27	0	2	8	12	995	6	1,393	1,707	81,974	83	34	5	87,054
平成 27 年	489	202	0	17	2	0	7	19	995	6	1,516	1,705	81,162	75	13	0	86,208
平成 26 年	437	201	1	39	0	0	0	21	939	5	1,880	1,633	80,329	61	33	4	85,583
平成 25 年	533	195	0	127	0	0	0	10	902	2	1,859	1,458	79,232	54	22	6	84,400
平成 24 年	494	220	3	61	1	0	0	11	903	1	1,895	1,418	76,644	63	58	28	81,800
平成 23 年	579	202	0	69	6	1	0	12	839	8	1,871	1,268	75,869	51	35	0	80,810
平成 22 年	437	257	0	71	0	0	0	4	866	4	1,972	1,222	72,820	79	31	0	77,763

※ 高速とは、名神高速道路、京滋バイパス、第二京阪道路、京都縦貫自動車道及び京都市道高速道路 1 号線をいう。

航空隊の出動状況

■ 過去 10 箇年の消防航空隊の出動状況

	年／事故種別	火災	救助	救急	その他(※)	計
	令和 元年	18	33	66	7	124
出動件数	平成 30 年	18	25	58	21	122
	平成 29 年	24	31	92	14	161
	平成 28 年	21	32	90	16	159
	平成 27 年	12	22	69	8	111
	平成 26 年	19	40	97	11	167
	平成 25 年	29	40	68	13	150
	平成 24 年	23	28	73	24	148
	平成 23 年	50	28	54	28	160
	平成 22 年	29	23	60	2	114

※ 林野等で発生した火災及び紛らわしい煙の調査や、高速道路上で発生した事故等に対する情報収集活動、他府県における災害発生に伴う応援出動のうち、情報収集活動を実施したものなど。

住宅火災

住宅火災の発生状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	合 計	平 均
火 災 件 数	170	215	270	245	236	232	256	249	230	215	2,318	231.8
うち建物火災 a	136	180	210	186	166	170	193	176	173	162	1,752	175.2
うち住宅火災 b	86	124	135	122	111	101	122	104	104	107	1,116	111.6
建物火災に占める 住宅火災の割合 b/a	63%	69%	64%	66%	67%	59%	63%	59%	60%	66%	64%	64%

住宅火災における焼死者の状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	合 計	平 均
焼 死 者 数	15	14	15	18	17	6	15	15	12	41	168	16.8
うち放火自殺者等を除く	10	11	10	14	13	5	14	8	10	41	136	13.6
うち建物火災死者	10	11	10	14	13	4	13	8	10	41	134	13.4
うち住宅火災死者 a	9	10	10	13	13	4	13	8	9	6	95	9.5
うち高齢者等 b	5	6	7	11	11	3	12	6	7	5	73	7.3
高齢者等(※1)割合 b/a	56%	60%	70%	85%	85%	75%	92%	75%	78%	78%	77%	77%

※1 65歳以上の高齢者及び身体に障害のある者

住宅火災の主な発生原因

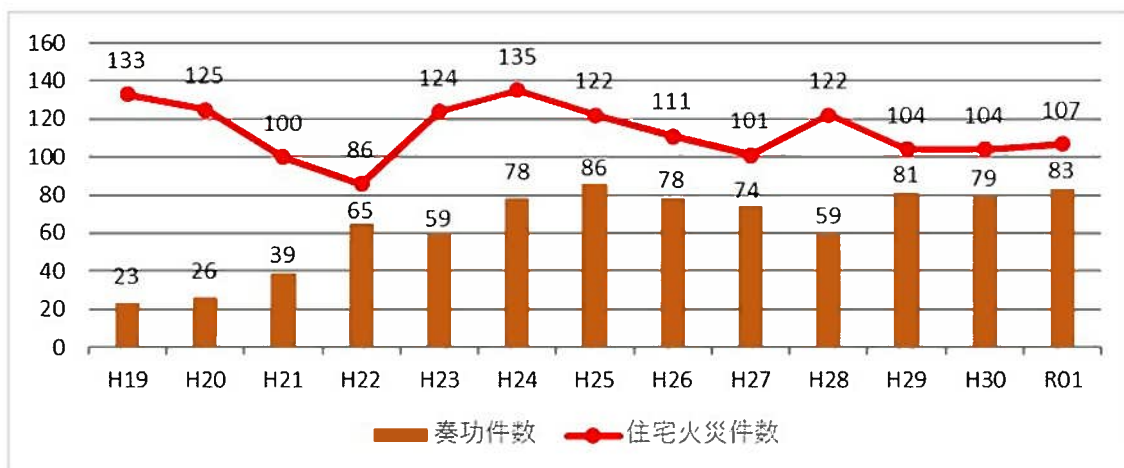
平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
たばこ	14	たばこ	26	たばこ	23	たばこ	22	放火	25
放火	14	放火	13	放火	15	こんろ	18	たばこ	21
暖房器具	10	暖房器具	11	こんろ	15	天ぷらなべ	13	暖房器具	10
天ぷらなべ	9	こんろ	9	暖房器具	14	放火	10	コード	8
その他	39	その他	65	その他	68	その他	59	その他	47
計	86	計	124	計	135	計	122	計	111

平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
放火	24	たばこ	33	たばこ	16	放火	17	たばこ	20
たばこ	10	放火	15	放火	13	たばこ	13	暖房器具	13
暖房器具	10	こんろ	15	こんろ	11	暖房器具	10	放火	7
天ぷらなべ	9	暖房器具	8	天ぷらなべ	10	コード	10	こんろ	19
その他	48	その他	51	その他	54	その他	54	その他	24
計	101	計	122	計	104	計	104	計	83

住宅用火災警報器設置率

	設置率	
	必要な箇所全てに設置	一部設置
令和元年度 (令和元年3月31日現在)	82.1%	91.3%
平成30年度 (平成31年3月31日現在)	81.8%	91.1%

住宅用火災警報器の奏功事例



文化財関係

京都市内の主な文化財火災（年表）

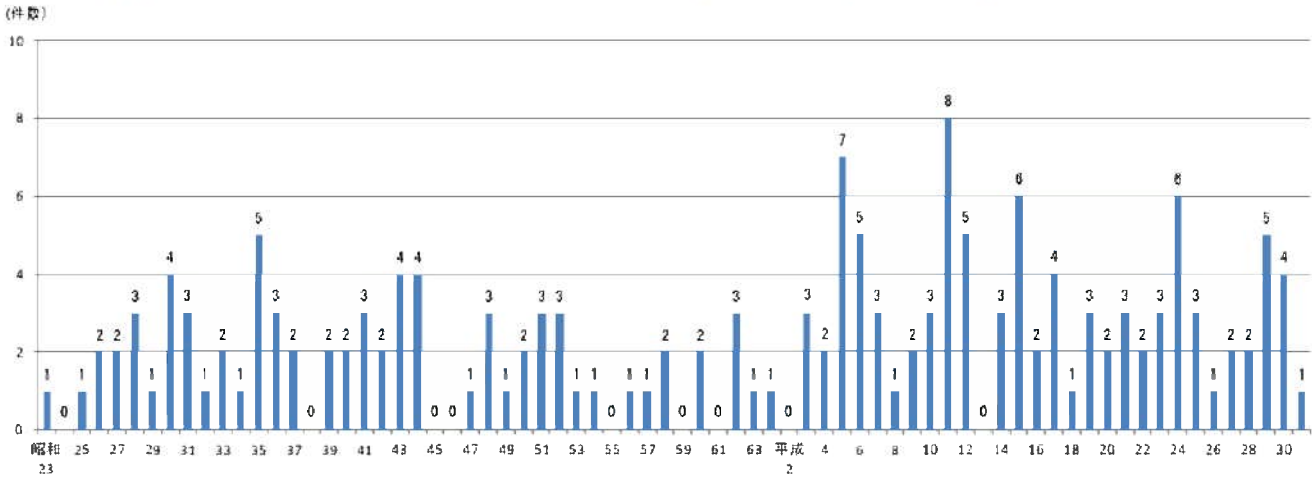
発 生 年 月	概 要 等		
昭和5年12月	南 区	教王護国寺（東寺）	伽藍堂焼失
昭和7年4月	伏見区	醍醐寺	五大堂（国宝）焼失
昭和11年5月	東山区	蓮華王院	三十三軒堂（国宝）床下焼損
昭和14年8月	伏見区	醍醐寺	経蔵（国宝）焼失
昭和22年5月	東山区	智積院	寝殿焼失
昭和25年5月	文化財保護法制定		
昭和25年7月	北区	鹿苑寺（金閣寺）	金閣（国宝），木造坐像（国宝）焼失
昭和37年7月	中京区	壬生寺	本堂，地藏菩薩坐像（重文），木造四天王立像（重文）焼失
昭和37年9月	右京区	妙心寺	鐘楼（重文）焼失
昭和41年5月	右京区	霊雲院（妙心寺内）	書院（重文）壁紙焼失
昭和41年7月	北区	大徳寺	方丈の障壁画（重文）焼失
昭和50年8月	伏見区	與杼神社	本殿（重文）焼失
昭和51年1月	左京区	平安神宮	拝殿及び本殿焼失
平成5年4月	右京区	仁和寺	金堂，御影堂（重文）等の一部焼失
平成5年4月	左京区	三千院	往生極楽院（重文）の一部焼失
平成5年4月	東山区	青蓮院	茶室好文亭焼失
平成12年5月	左京区	寂光院	本殿，地藏菩薩立像（重文）焼失

特定文化財対象物の火災発生状況（S23～）

※「特定文化財対象物」とは、国・府・市の指定・登録文化財等，貴重な建造物等を消防局長が指定したものです。現在 1,060 件の社寺等を指定して，指導の強化を図っています。

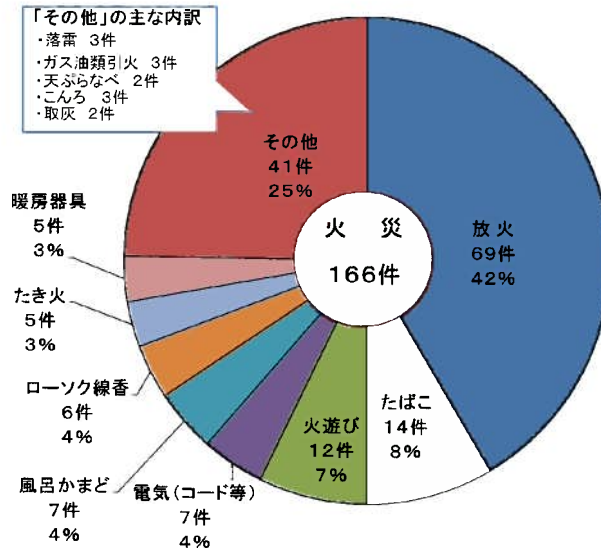
■ 年別の火災発生状況

京都市消防局が発足した昭和23年から令和元年までに，166 件の火災が発生。

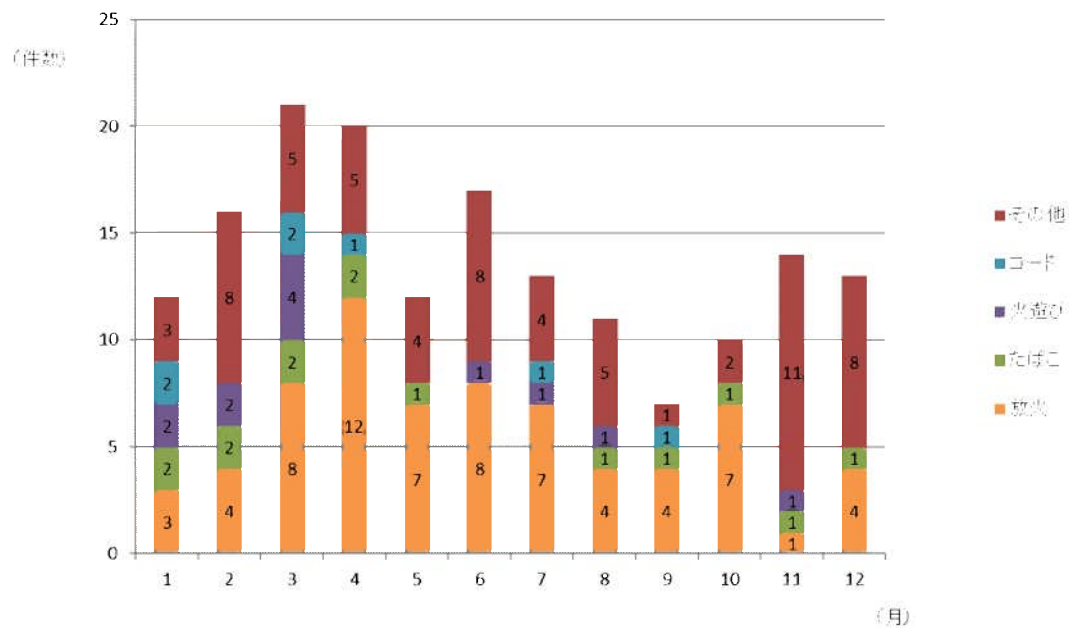


原因別の火災発生状況

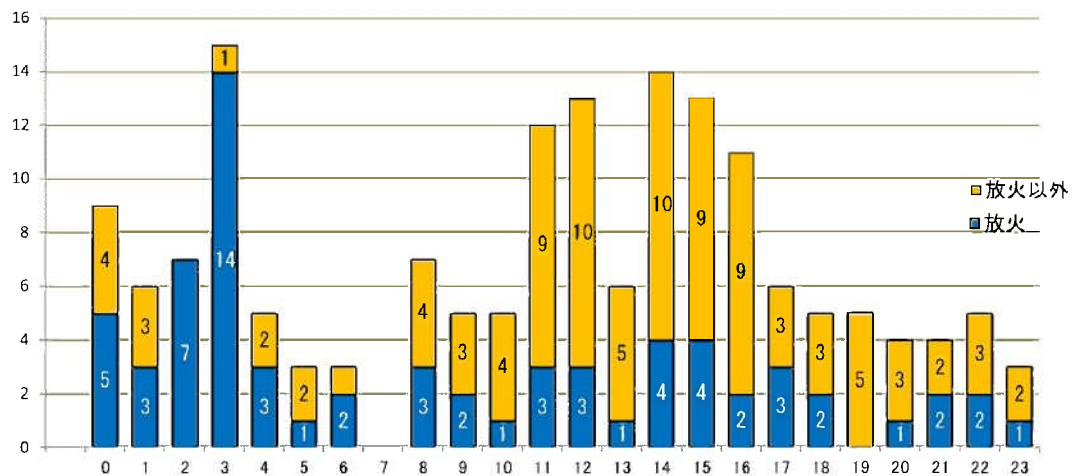
特定文化財対象物の敷地内で発生した火災(原因別)



月別の火災発生状況



時間別の火災発生状況



文化財保護法による指定・登録文化財

(令和2年4月1日現在)

区分	有形文化財				無形文化財		民俗文化財		記念物							重要伝統的建造物群保存地区	重要文化財の景観	選定保存技術		登録有形文化財		登録有形民俗文化財	登録記念物
	国宝		重要文化財		重要無形文化財		民俗文化財 重要有形財	民俗文化財 重要無形財	特別史跡	特別名勝	特別天然記念物	史跡	名勝	天然記念物	保持者			保持団体	建造物	美術工芸品			
	建造物	美術工芸品	建造物	美術工芸品	保持者	保持団体																	
全国	227	893	2,509	10,772	113	30	223	312	63	36	75	1,647	422	1,091	120	65	53	39	12,442	16	45	117	
京都市内分	42	172	212	1,674	11	0	4	6	3	12	0	53	30	7	4	1	17	12	423	2	2	0	

備考 重要文化財には国宝を含みます。史跡、名勝、天然記念物には特別史跡、名勝、天然記念物を含みます（数字は指定件数等を示す。）。

京都府・京都市文化財保護条例による指定・登録文化財等

(令和2年4月1日現在)

区分	有形文化財						無形文化財		民俗文化財						記念物											文化財の景観	文化財環境保全地区	選定保存技術
	建造物			美術工芸品					有形			無形			史跡			史跡・名勝・名勝	名勝			天然記念物			天然記念物・名勝			
	指定	登録	暫定	指定	登録	暫定	認定	登録	指定	登録	暫定	指定	登録	暫定	指定	登録	暫定		指定	登録	暫定	指定	登録	暫定		指定	登録	暫定
京都府	126	36	676	172	33	451	11	0	2	12	49	21	70	25	0	27	2	12	1	2	15	6	0	1	10	62	2	
うち市内	49	8	439	93	2	31	9	0	2	0	7	1	2	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	2	
京都市	75	27		113	33		0	0	1	3		0	58	16	12			35	3		23	10			0	11	0	

文化財防災マイスター養成研修の養成人数

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	合計
タクシー関係団体	8	4	0	10	5	3	6	5	18	9	68
バスガイド関係団体	13	13	9	12	10	8	0	26	11	0	102
ボランティア関係団体	38	40	47	29	68	39	90	65	49	68	533
その他	0	0	2	2	0	6	10	3	10	1	34
合計	59	57	58	53	83	56	106	99	88	78	737

文化財市民レスキュー体制一覧（238 対象物）

行政区 (体制数)	対象物名				
北 (12)	氷室神社	平野神社	光悦寺	源光庵	賀茂別雷神社
	大徳寺	清水寺	円成寺	常照寺	久我神社
	正伝寺	遣迎院			
上京 (13)	頼山陽書斎	雨宝院	宝慈院	本満寺	浄土院
	北野天満宮	廬山寺	妙覚寺	妙顕寺	石像寺
	宝鏡寺	引接寺	大報恩寺		
左京 (30)	来迎院	曼殊院	心光院	草生町公民館	霊鑑寺
	峰定寺	寂光院	聖護院	涌泉寺	勝林院
	満願寺	岩倉具幽棲旧宅	積善院	檀王法林寺	貴船神社
	大原観音堂	由岐神社	野村町公民館	三宅八幡神社	賀茂御祖神社
	岡崎神社	鞍馬寺	浄楽堂	帰源寺（慈眼堂）	栖賢寺
	志古淵神社	崇道神社	瀧澤家住宅	吉田神社	駒井家住宅
中京 (18)	旧神先家	下御霊神社	榊神社	矢田寺	川崎家住宅
	八木（南）家	神泉苑	本能寺	行願寺	蓮光院
	八木家	京都ハリストス正教会		堀野記念館	京都聖三一教会
	壬生寺	小川家住宅	天性寺	日本キリスト教団京都御幸町教会	
東山 (48)	清水寺	龍眠庵	霊雲院	法観寺（八坂の塔）	妙法院門跡
	宝徳寺	勝林寺	桂昌院	清閑寺	新日吉神社
	東福寺	善慧院	願成寺	新熊野神社	蓮華王院
	霊源院	大機院	天得院	尊勝院	方広寺
	同聚院	一華院	萬寿寺	粟田神社	安井金比羅宮
	正覚庵	芬陀院	浄心寺	良恩寺	高台寺
	永明院	東光寺	常光院	大蔵寺	春光院
	光明院	南明院	清住院	法性寺	圓徳院
	栗棘庵	莊厳院	建仁寺	瀧尾神社	
	盛光院	即宗院	金剛寺	正法寺	
山科 (30)	福應寺	三之宮	大圓寺	厨子奥公会堂	日向大神宮
	勸修寺	當麻寺	諸羽神社	折上神社	阿弥陀寺
	八幡宮	西宗寺	徳林庵	雙林院	本願寺山科別院
	南殿光照寺	長福寺	大石神社	毘沙門堂	岩屋神社
	随心院	歓喜光寺	岩屋寺	妙応寺	安祥寺
	大乘院	阿彌陀寺	山科神社	本園寺	稱名寺
下京 (13)	角屋	保昌山	平等寺	大行寺	長性院
	輪違屋	透玄寺	常楽寺	光園院	金光寺
	長講堂	燕庵	仏光寺		
南（4）	大福寺	倉掛神社	福田寺	光福寺	
右京 (32)	高山寺	車折神社	般若寺	法金剛院	福德寺
	神護寺	今宮神社	平岡八幡宮	常寂光寺	慈眼寺
	木島坐天照御魂神社	檀林寺	二尊院	落柿舎	宝泉寺
	天龍寺	祇王寺	厭離庵	化野念仏寺	中道寺
	金剛院	滝口寺	慈眼堂	愛宕念仏寺	常照皇寺
	臨川寺	梅宮大社	西明寺	八幡宮社	清凉寺
	福王子神社	春日神社			
西京 (21)	浄住寺	玉村家住宅	本願寺西山別院	樫本神社	勝持寺
	大歳神社	地蔵院	喜春庵	谷ヶ堂最福寺延朗堂	華厳寺
	善峯寺	月読神社	五社神社	千光寺	長福寺
	廣見寺	法輪寺	大原野神社	宝菩提院願徳寺	正法寺
	松尾大社				
伏見 (17)	西養寺	藤森神社	常泰寺	龍前堂	御香宮神社
	與杼神社	観音寺	上三栖薬師堂	飛鳥田神社	伏見稲荷大社
	赤間薬師堂	恵福寺	萱尾神社	善願寺	天穂日命神社
	西方寺	法界寺			

鑑 識 の 実 施 状 況

鑑識実施件数

■ 過去 5 箇年の鑑識及び技術支援の件数

	鑑 識			技術支援 ※2	合 計
	電気関係	油類関係	その他※1		
令和元年度	23	13	5	51	92
平成 30 年度	25	8	8	64	105
平成 29 年度	23	10	9	57	99
平成 28 年度	42	14	2	35	93
平成 27 年度	32	19	0	52	103

備考：※1 「その他」は、電気関係及び油類関係以外の鑑識（例：収去した残さ物に付着した物質の分析，対流式石油ストーブ等の鑑識）
※2 「技術支援」は、署員が実施する火災原因調査に対し，予防課員が撮影補助，資料提供及び助言等を行ったもの。

防 火 対 象 物

業態別の防火対象物数

(令和2年4月1日現在)

令別表区分	業態	1種	2種	3種	計
1項イ	劇場、映画館等	22	7		29
1項ロ	集会場等	36	71	136	243
2項イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等		19	5	24
2項ロ	遊技場、ダンスホール	32	14	9	55
2項ハ	性風俗店		3	8	11
2項ニ	カラオケボックス、インターネットカフェ等	3	18		21
3項イ	待合、料理店等		46	25	71
3項ロ	飲食店	20	1,299	2,177	3,496
4項	物品販売店舗、展示場	112	1,063	548	1,723
5項イ	旅館、ホテル、宿泊所	648	131	2,419	3,198
5項ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		2,482	14,258	16,740
6項イ	病院、診療所、助産所	96	88	329	513
6項ロ	老人福祉施設、児童福祉施設、障害者施設等	177	141	13	331
6項ハ	保育所、老人福祉施設、児童福祉施設、障害者施設等	4	427	253	684
6項ニ	幼稚園、特別支援学校	6	89		95
7項	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校等	33	419	40	492
8項	図書館、博物館等	1	33	9	43
9項イ	蒸気浴場、熱気浴場等				
9項ロ	公衆浴場		44	66	110
10項	駅舎、停車場		37	37	74
11項	神社、寺院、教会等	1	258	987	1,246
12項イ	工場、作業場	37	339	3,319	3,695
12項ロ	スタジオ		2	1	3
13項イ	自動車車庫、駐車場		53	251	304
13項ロ	航空機格納庫		2		2
14項	倉庫	3	117	1,560	1,680
15項	前各項に該当しない事業場	34	1,236	3,065	4,335
16項イ	特定複合用途	448	3,377	3,928	7,753
16項ロ	特定外複合用途	6	811	4,735	5,552
16の2項	地下街	2			2
17項	文化財	206			206
18項	アーケード			22	22
合 計		1,927	12,626	38,200	52,753

行政区別の防火対象物数

(令和2年4月1日現在)

査察区分	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	計
第1種対象物	81	99	152	336	186	79	325	152	185	108	224	1,927
第2種対象物	755	694	1,196	1,938	862	779	1,333	1,080	1,330	742	1,917	12,626
第3種対象物	2,946	3,159	4,412	4,213	2,277	2,586	3,361	3,859	3,600	2,378	5,409	38,200
合 計	3,782	3,952	5,760	6,487	3,325	3,444	5,019	5,091	5,115	3,228	7,550	52,753

消 防 用 設 備 等

消防用設備等の届出件数

	着工届出書	設置届出書
令和元年度	2, 104	3, 571
平成 30 年度	1, 956	3, 532
平成 29 年度	2, 023	3, 674
平成 28 年度	2, 366	3, 467
平成 27 年度	2, 060	2, 907
平成 26 年度	1, 782	2, 508
平成 25 年度	1, 713	2, 419
平成 24 年度	1, 586	2, 369
平成 23 年度	1, 399	2, 159
平成 22 年度	1, 389	2, 284

各消防用設備等の完成検査件数

種類	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消火器具	932	893	976	1, 062	1, 182	1, 197	1, 615	1, 508	1, 573	1, 426
屋内消火栓設備	171	146	170	173	159	124	184	100	103	102
スプリンクラー設備	270	225	275	252	276	255	196	169	145	197
水噴霧消火設備	0	1	1	0	0	1	1	1	2	3
泡消火設備	14	13	10	13	20	11	14	6	7	19
不活性ガス消火設備	12	7	10	6	6	5	3	1	2	8
ハロゲン化物消火設備	12	8	19	25	14	10	10	12	13	12
粉末消火設備	31	36	32	40	38	28	27	22	28	17
屋外消火栓設備	14	9	11	9	12	8	15	7	3	8
動力消防ポンプ設備	1	1	0	2	2	2	21	0	1	0
自動火災報知設備	1, 391	1, 303	1, 450	1, 531	1, 458	1, 420	1, 769	1, 218	1, 330	1, 470
ガス漏れ火災警報設備	14	9	10	9	11	8	14	6	8	12
漏電火災警報器	17	13	23	12	29	14	7	9	16	11
火災通報装置	64	72	77	81	56	73	79	233	202	203
非常警報設備	151	149	148	171	182	149	156	114	147	157
放送設備	252	228	323	316	242	263	187	184	173	248
避難器具	235	237	274	274	285	232	283	295	330	358
誘導灯	1, 013	1, 038	1, 160	1, 132	1, 293	1, 371	1, 837	1, 680	1, 752	1, 629
消防用水	2	2	7	0	2	3	5	1	2	4
排煙設備	11	7	8	9	10	8	6	2	3	12
連結散水設備	9	6	7	8	7	5	15	2	5	4
連結送水管	82	74	101	91	73	64	73	65	75	97
非常コンセント設備	21	10	26	19	17	21	21	11	5	21
無線通信補助設備	1	0	1	7	10	15	8	1	1	3
合計	4, 720	4, 487	5, 119	5, 242	5, 384	5, 287	6, 576	5, 647	5, 926	6, 021

建築物同意及び通知事務取扱状況

	同 意	通 知
令和元年度	3,642	2,407
平成30年度	3,647	2,252
平成29年度	3,527	2,279
平成28年度	3,633	2,302
平成27年度	3,775	2,214
平成26年度	3,810	2,057
平成25年度	3,989	2,667
平成24年度	3,651	2,319
平成23年度	3,469	2,246
平成22年度	3,445	2,262

行政区別同意及び通知件数

(令和元年度中)

	同 意	通 知
北	338	181
上 京	261	38
左 京	284	416
中 京	357	104
東 山	133	54
山 科	341	128
下 京	314	147
南	380	131
右 京	604	211
西 京	182	347
伏 見	448	650
合 計	3,642	2,407

危険物

危険物施設の状況

(令和2年4月1日)

行政区別	製造所	貯蔵所								取扱所					合計	少量取扱所	総計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	第一種販売	第二種販売	一般	小計			
北	2	4		2	17		8	2	33	18			3	21	56	156	212
上京		7		1	18		3		29	8	4		7	19	48	140	188
左京		28	1	3	40		1		73	25	2		22	49	122	227	349
中京		25		3	31		4		63	8	2	1	18	29	92	189	281
東山	4	10	4	4	22			3	43	2	3		11	16	63	94	157
山科	2	29		1	18		5	1	54	23	1		8	32	88	205	293
下京	1	8	1	8	23		6		46	14	1		7	33	69	190	259
南	6	146	6	5	81		62	4	304	62	6		50	118	428	578	1,006
右京	4	48	10	2	56		10	2	128	28	1	1	29	59	191	273	464
西京		7		2	9		8		26	21			2	23	49	179	228
伏見	9	93	35	2	88		75	14	307	68	1		43	112	428	491	919
合計	28	405	57	33	403	0	182	26	1,106	277	21	2	200	500	1,634	2,722	4,356

許可数量別施設数

(令和2年4月1日)

製造所等の別 行政区別	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	第一種販売	第二種販売	一般	小計	
5倍以下	7	228	13	25	154		116	9	545	14	8		95	117	669
5倍を超え10倍以下	7	77	18	8	90		15	9	217	24	6		57	87	311
10倍を超え50倍以下	11	70	21		116		36	8	251	73	7	2	37	119	381
50倍を超え100倍以下	1	12	5		30		12		59	23			8	31	91
100倍を超え150倍以下		9			11		3		23	16			1	17	40
150倍を超え200倍以下		5			1				6	24				24	30
200倍を超え1000倍以下	2	3			1				4	102			2	104	110
1000倍を超え		1							1	1				1	2
合計	28	405	57	33	403	0	182	26	1,106	277	21	2	199	500	1,634

類別施設数

(令和2年4月1日)

製造所等の別 行政区別	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	第一種販売	第二種販売	一般	小計	
単独	第1類	2							2				3	3	5
	第2類	3			1				4				1	1	5
	第3類														
	第4類	19	373	56	33	402	182	26	1,072	277	21	2	189	489	1,580
	第5類	1							1						1
	第6類		1						1						1
混在		9	26						26				7	7	42
合計		28	405	57	33	403	0	182	26	1,106	277	21	2	500	1,634

職 員 数

職員数の状況

	現在員※	初任教育生	再任用職員
令和元年度	1,598	49	152
平成30年度	1,632	38	137
平成29年度	1,645	35	117
平成28年度	1,670	42	89
平成27年度	1,688	40	75
平成26年度	1,719	34	67
平成25年度	1,744	46	42
平成24年度	1,765	72	28
平成23年度	1,819	50	23
平成22年度	1,867	50	9

※現在員は初任教育生及び再任用職員を除く。

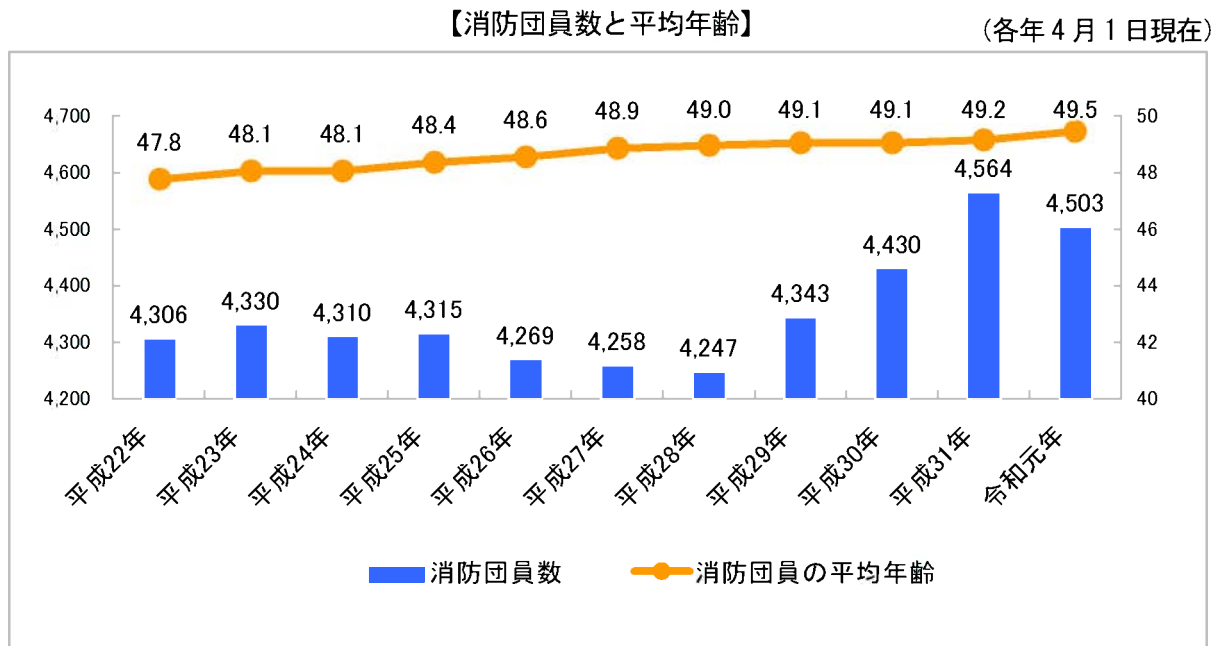
消 防 団 関 係

消防団員数の状況

■ 消防団員の増加と高齢化

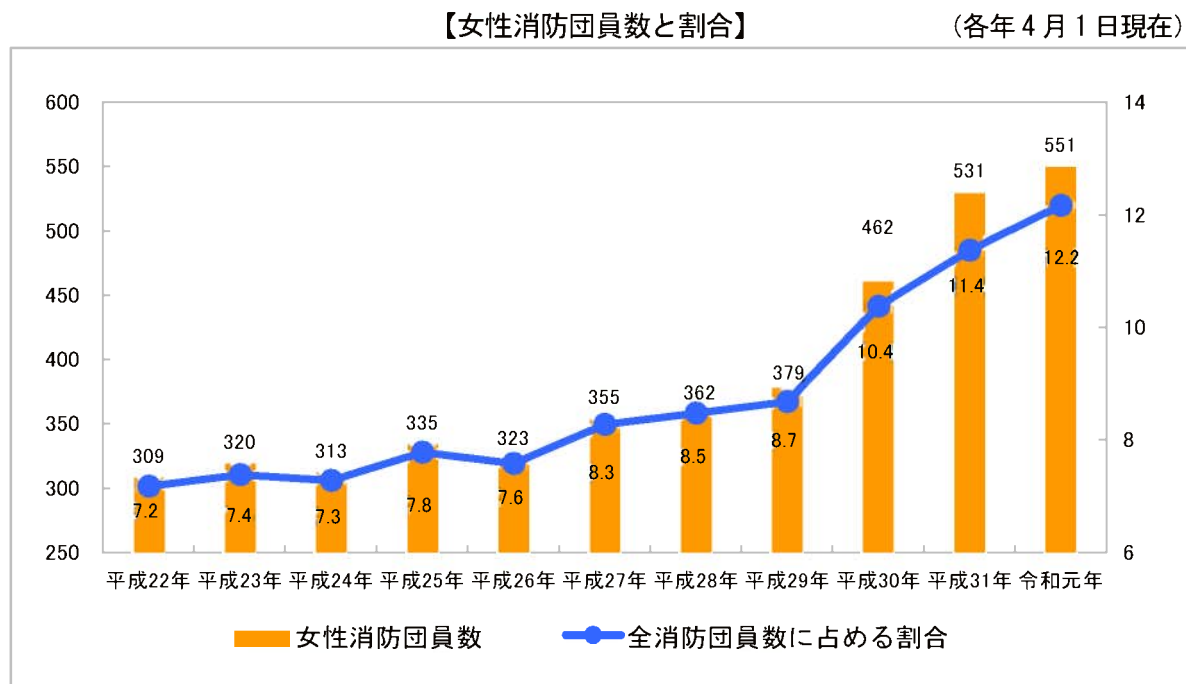
令和2年4月1日現在の消防団員数は、前年に比べ61名減少の4,503名で、平成28年以降4年ぶりに減少しました。

消防団員の平均年齢は緩やかに上昇を続けており、令和2年4月1日現在で49.5歳と、10年前の47.8歳と比較して、1.7歳上昇しています。



■ 女性消防団員の増加

女性消防団員数は、令和2年4月1日現在で551名と、前年に比べ20名増加となり、女性消防団員の全消防団員数に占める割合も、10年前は7.2%であったのが、12.2%を占めるまでになっています。

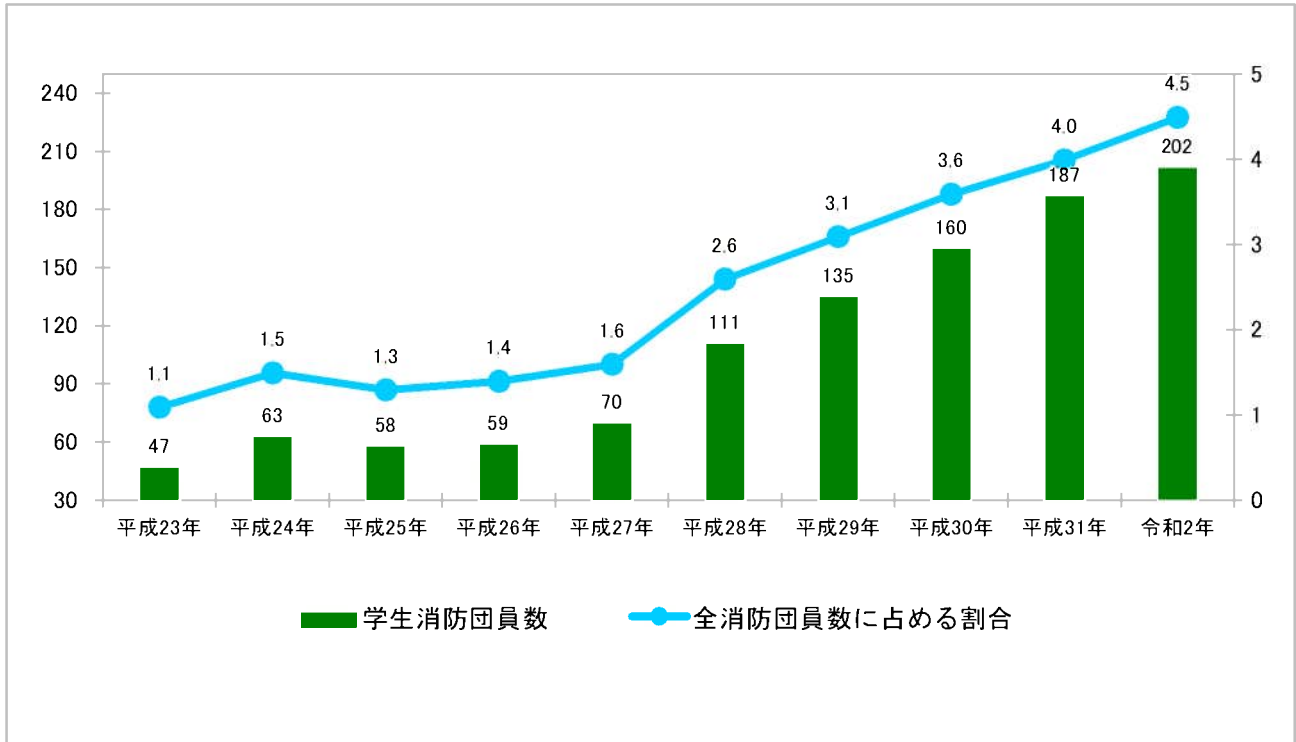


■ 学生消防団員の増加

学生消防団員数は、令和2年4月1日現在で202名と、前年に比べ15名増加となり、学生消防団員の全消防団員数に占める割合も、8年前は1.1%であったのが、4.5%を占めるまでになっています。

【学生消防団員数と割合】

(各年4月1日現在)



■ 京都市消防団総合査閲の開催状況

昭和32年～昭和39年	10月	各地元で開催
昭和40年～昭和50年	9月	
昭和51年，昭和52年	9月	消防学校（伏見区）
昭和53年～昭和59年	8月	
昭和60年，昭和61年	7月	
昭和62年～平成20年	6月	
平成21年～平成26年	6月	消防活動総合センター（南区）
平成27年～平成29年	5月	
平成30年～令和元年	6月	

■ 京都市消防団総合査閲の実施内容

昭和32年～昭和50年	点検礼式，消火栓操法，小型動力ポンプ操法，防水シート操法
昭和51年～昭和58年	点検礼式，消火栓操法，防水シート操法
昭和59年～平成8年	点検礼式，消火栓操法
平成9年～平成17年	点検礼式，小型動力ポンプ操法
平成18年～平成26年	点検礼式，小型動力ポンプ操法（分岐管使用に変更）
平成27年～令和元年	点検礼式，消防訓練（放水を伴う訓練に変更）

※ その他，業務実績及び各種簿冊の点検を昭和32年から継続して実施

■ 過去 10 年の消防団総合査閲受閲分団

受閲分団名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
北 消防団	金閣	中川	出雲路	小野郷	待鳳	隠峯	雲ヶ畑	上賀茂	鳳徳	柏野
上京消防団	乾隆	仁和	西陣	嘉楽	京極	小川	出水	桃菌	成逸	室町
左京消防団	東山	岩倉南	下鴨	大原	岩倉北	修学院第二	八瀬	上高野	川東	久多
中京消防団	梅屋	生祥	朱雀第七	龍池	銅駝	朱雀第六	明倫	竹間	朱雀第三	本能
東山消防団	栗田	弥栄	月輪	新道	貞敷	今熊野	一橋	清水	有清	六原
山科消防団	百々	安朱	陵ヶ岡	小野	音羽川	西野	音羽	勸修	山階	鏡山
下京消防団	光徳	梅邊	崇仁	西大路	皆山	永松	郁文	格致	菊浜	醒泉
南 消防団	東和	上鳥羽	山王	弘道	九条	南大内	陶化	南梅庭	吉祥院	久世
右京消防団	宇多野	嵯峨野	山ノ内	山国	御室	花園	葛野	弓削	安井	梅津
西京消防団	大原野	新林	川岡東	桂徳	福西	桂	嵐山東	桂東	桂坂	松陽
伏見消防団	下鳥羽	砂川	板橋	醍醐池田	横大路	深草	南浜	春日野	納所	藤ノ森

消防団充実強化のための取組状況

■ 消防団防災ハイスchoolの実施状況

平成 27 年度	16 校	3,399 名	平成 30 年度	30 校	6,581 名
平成 28 年度	16 校	2,632 名	令和元年度	33 校	9,708 名
平成 29 年度	25 校	8,814 名			

■ 京都市学生消防団活動認証制度の認証状況

平成 27 年度	10 名	平成 30 年度	24 名
平成 28 年度	15 名	令和元年	21 名
平成 29 年度	17 名		

■ 京都市消防団協力事業所表示制度の認定状況

令和 2 年 3 月 31 日現在	101 事業所を認定
-------------------	------------

■ 消防団充実強化実行チームの活動状況（広報チーム、交流チーム、教育チームの活動）

平成 26 年度 3 チーム 計 67 名	第 1 回京都市消防団フェスタの開催（平成 26 年 11 月 30 日，梅小路公園）
	消防団フェイスブックページ「おこしやす消防団」の開設
	消防団紹介リーフレットの作成（17,650 枚）
	団員教育用ホームページの開設及び掲載動画の作成
平成 27 年度 3 チーム 計 74 名	第 2 回京都市消防団フェスタの開催（平成 27 年 11 月 29 日，梅小路公園）
	消防団フェイスブックページ「おこしやす消防団」の運営
	消防団活動紹介パンフレットの作成（25,000 部）
平成 28 年度 3 チーム 計 85 名	第 3 回京都市消防団フェスタの開催（平成 28 年 11 月 27 日，岡崎公園）
	消防団フェイスブックページ「おこしやす消防団」の運営
	消防団充実強化実行チームによる入団勧奨（合計 12 回）
	消防団事例発表会（集まれ，団員の WA！）の開催
平成 29 年度 4 チーム 計 71 名	団員教育用ホームページの内容充実
	第 4 回京都市消防団フェスタの開催（平成 29 年 11 月 26 日，梅小路公園）
	消防団フェイスブック「おこしやす消防団」の運営
	消防団充実強化実行チームによる入団勧奨（合計 18 回）
平成 30 年度 4 チーム 計 63 名	女性・学生消防団員意見交換会の開催（合計 4 回）
	第 5 回京都市消防団フェスタの開催（平成 30 年 11 月 25 日，梅小路公園）
	消防団フェイスブック「おこしやす消防団」の運営
	消防団充実強化実行チームによる入団勧奨（合計 10 回）
令和元年 4 チーム 計 64 名	女性・学生消防団員意見交換会の開催（合計 4 回）
	第 6 回京都市消防団フェスタの開催（令和 2 年 11 月 17 日，梅小路公園）
	消防団フェイスブック「おこしやす消防団」の運営
	消防団充実強化実行チームによる入団勧奨（合計 15 回）
	女性・学生消防団員意見交換会の開催（合計 3 回）

自主防災会・市民関係

自主防災組織の設置状況

(令和2年4月1日)

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
自主防災会数	19	17	27	23	11	13	23	15	27	17	35	227
自主防災部数	525	699	634	742	317	344	614	366	657	230	1,108	6,236

事業所と自主防災会との連携

(令和2年4月1日)

協力体制件数	145
参画事業所数	181
延べ参画自主防災会数	175

防火・防災指導の実施状況

(令和元年度中)

指導項目 区分	講習会	映画会	防火防災 訓練	見学会 展示会	防火防災 のつどい	広報	その他
実施 回数	447	10	3,147	184	28	220	200
参加 人員	14,903	597	184,089	10,615	1,349	2,652	9,843

市民消防表彰の状況

(令和元年度中)

表彰区分	自主防災会	自主防災部	推進功労者	防災功労者	事業所
表彰数計	33	150	36	24	51

応急手当の普及啓発

令和元年度の救命講習実施状況

講 習 区 分	時 間	内 容	修了者数
普通救命講習	3 時間	・ 成人を救命対象とした応急手当	30, 199
		・ 小児，乳児及び新生児を救命対象とした応急手当	5, 538
上級救命講習	8 時間	・ 成人に対する応急手当 ・ 小児，乳児及び新生児に対する応急手当 ・ その他の応急手当	754
応急手当普及員	24 時間 (8 時間 × 3 日間)	普通救命講習の内容に加え，小児，乳児，新生児に対する心肺蘇生法や骨折などの外傷の手当，搬送法など，更に幅の広い応急手当を学ぶ講習	467
救命入門コース	90 分 又は 45 分	胸骨圧迫と A E D の使用方法が中心の，小学 5・6 年生を対象とした応急手当の導入講習	2, 564

消 防 水 利 数

市内における消防水利数の状況

(令和2年4月1日)

消火栓	防火水槽	その他水利
25,665 基 (84.2%)	2,741 基 (9.0%)	2,057 基 (6.8%)

消防装備・安全教育関係

消防車両整備件数

(令和元年度中)

種 別	件 数
継 続 検 査	169
定期点検整備	363
臨 時 整 備	1,135

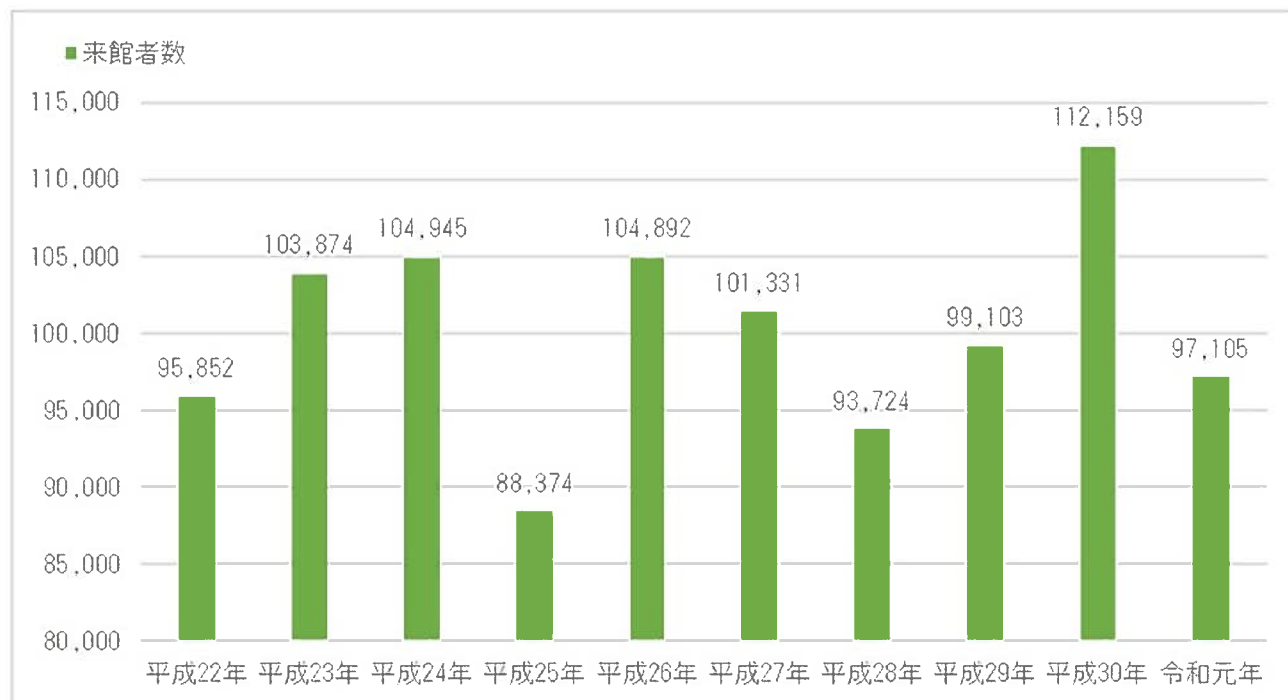
各消防署（消防分署）等における安全運転教育実施数

(令和元年度中)

項 目	回 数
職 場 に お け る 安 全 運 転 教 育 (安全運転管理者・外部講師等)	2回以上
安全衛生委員会等における検討	2回以上
危 険 予 知 訓 練	6回以上
交 通 事 故 防 止 の 事 例 検 討	6回以上
安 全 運 転 技 能 向 上 訓 練	1回以上
学校教育における安全運転教育	6 回
消 防 機 械 操 作 指 導	4 回

市民防災センターの来館者数

過去 10 年間の市民防災センターの来館者数



防火管理講習関係

市民防災センターにおける防火管理講習等の実施状況

(令和元年度中)

講習名	種類	受講人数
甲種防火管理講習	新規講習	2,137
	再講習	167
乙種防火管理講習		78
防災管理講習	新規講習	91
防火・防災管理講習	新規講習	849
自衛消防業務講習	新規講習	706
	再講習	575
防火対象物点検資格者講習	新規講習	38
	再講習	164
防災管理点検資格者講習	新規講習	14
	再講習	97
防火・防災管理業務受託法人等教育担当者講習		5
京の宿泊所防火研修		171

広 報 ・ 広 聴 活 動

過去 10 箇年の主な広報活動の状況

年 度	広報発表等の情報提供	市民しんぶん掲載件数	業界紙（誌）掲載件数
令和元年度	150	158	9
平成 30 年度	165	152	16
平成 29 年度	210	178	13
平成 28 年度	174	176	21
平成 27 年度	175	192	16
平成 26 年度	189	158	10
平成 25 年度	187	160	15
平成 24 年度	217	142	9
平成 23 年度	250	152	15
平成 22 年度	251	151	38

過去 10 箇年の国内外の行政機関等の視察状況

年 度	国際交流		消防関係者		行政関係者等		計	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
令和元年度	5	66	11	62	2	26	18	154
平成 30 年度	7	59	12	128	5	85	24	272
平成 29 年度	7	80	15	155	4	92	19	327
平成 28 年度	3	34	14	52	3	87	20	173
平成 27 年度	4	69	8	87	3	54	15	210
平成 26 年度	2	31	13	36	4	66	19	133
平成 25 年度	2	29	26	180	3	44	31	253
平成 24 年度	4	55	25	229	14	128	43	412
平成 23 年度	2	43	26	120	14	81	42	244
平成 22 年度	10	54	35	240	9	66	54	360

過去 10 箇年の主な広聴活動の状況

■ 消防相談電話

年 度	情報種別							計
	苦情	要望	意見	相談	問合せ	感謝	その他	
令和元年度	7	5	6	53	2,646	10	110	2,837
平成 30 年度	7	5	2	121	2,301	1	138	2,575
平成 29 年度	6	30	3	58	2,364	6	81	2,548
平成 28 年度	8	4	1	22	2,722	2	5	2,764
平成 27 年度	12	4	2	25	2,761	3	10	2,817
平成 26 年度	7	1	3	19	2,808	1	8	2,847
平成 25 年度	3	3	2	17	2,915	1	0	2,941
平成 24 年度	6	4	2	9	2,331	3	0	2,355
平成 23 年度	13	6	2	24	2,477	2	0	2,524
平成 22 年度	15	7	4	49	2,692	5	3	2,775

■ 消防情報

年 度	情報種別							計
	苦情	要望	意見	相談	問合せ	感謝	その他	
令和元年度	52	679	11	142	46	112	66	1,108
平成 30 年度	53	922	7	194	90	135	79	1,480
平成 29 年度	65	943	10	234	91	183	94	1,620
平成 28 年度	56	816	18	261	109	182	79	1,521
平成 27 年度	57	1,022	22	293	111	185	122	1,812
平成 26 年度	86	1,087	15	293	147	161	162	1,951
平成 25 年度	79	1,009	17	230	116	212	140	1,803
平成 24 年度	58	946	5	284	129	218	166	1,806
平成 23 年度	73	935	16	364	141	227	209	1,965
平成 22 年度	80	964	31	409	225	232	212	2,153

消防音楽隊の演奏

過去 10 箇年の消防音楽隊の演奏状況

年 度	演奏主催者				計
	消防局	京都市	市民団体等	その他	
令和元年度	124	22	71	7	224
平成30年度	147	27	81	5	260
平成29年度	177	27	64	4	272
平成28年度	167	23	66	7	263
平成27年度	162	26	61	7	256
平成26年度	146	22	58	6	232
平成25年度	149	23	52	4	228
平成24年度	222	22	20	13	277
平成23年度	193	26	19	6	244
平成22年度	253	28	3	11	295